



日耳曼銀行定例

條

793



1  
—  
23





114  
A 2766



日耳曼銀行定例

千八百七十五年一月三十日

條

大正十一年四月  
限侯爵郵寄贈

第一篇 一般規定

第一節

貨幣發行ノ權ハ獨リ帝國ノ法律ニ依テ之ヲ與  
フルコトヲ得ヘシ又同様ノ法律ニ依ルニ非ラ  
ザレハ此定例ニ依テ定メタル高ヲ超ヘテ何レ  
ノ發行ヲモ做シ得ヘカラス○銀行ノ流用本金  
ヲ増加スル目的ヲ以テ銀行ニ交付シタル所ノ  
官府紙幣ハ此條例ニ依テ發行シタル銀行貨幣  
ニ同様ナルモノト見做ス可シ

飛

大



第二節

何人ヲ論セス法律ニ依リ正金ニテ渡ス可シト  
定ノタル仕拂方ヲ銀行帛幣ニテ渡タサルハ片  
ハ之ヲ引受ルコトヲ拒ニ能フベシ○又帝國諸  
大藏省ハ何レノ地方律ニ依ルモ銀行帛幣ヲ仕  
拂トシテ受取ルベキ責ヲナカル可シ

第三節

發行スヘキ銀行帛幣ハ一百マーク二百マーク  
五百マーク及ヒ一千マーク或ハ一千マークノ  
倍数ノ金額ノモノニ限ルヘシ

第四節

各銀行ハ其紙幣ヲ持参スル者アルトキハ其紙  
幣面ニ記シタル全價ニテ之ヲ收贖スヘシ○銀  
行ハ又々其紙幣ヲ仕拂方トシテ渡サルトキハ  
其紙幣面ニ記シタル全價ニテ之ヲ受取ルベシ  
而シテ中央銀行ニ於テノ三ナラズ惣テ支店ニ  
於テモ右ノ如クナスヘシ○各銀行ハ若シ紙幣  
ノ持主ニ之レヲ損傷シタル者アリテ其紙幣ノ  
過半ノ部分ヲ持参スルカ或ハ唯其紙幣ノ半分  
又ハ更ニ小分ヲ所持シ而シテ其紙幣ノ大七十



ル部分ハ滅却シタルコトヲ確證スル片ハ右損傷紙幣ヲ收贖セサル可カラス○銀行ハ滅却シ又ハ紛失シタル紙幣ヲ收贖スルノ責メナカル可シ

第五節

銀行ノ銀櫃或ハ其諸支店中ノ一支店ノ銀櫃或ハ紙幣收贖ノタメニ設立シタル其他ノ場所ニ拂ハレタル紙幣ハ若シ汚点アルカ又ハ損傷アルトキハ再ヒ之ヲ發行スベカラス

第六節

銀行ノ紙幣ヲ取回シ或ハ銀行紙幣中ノ某種ヲ取回スコトハ聯邦議院ヨリ特許ヲ受ケタルトキカ又ハ同議院ヨリ命令アリタル片ニ限ル可シ○此命令ハ通用紙幣ノ中ニ玷汚シ或ハ損傷シタルモノノ多分ニ之レアルヲ知レタル片又ハ銀行ニテ紙幣發行ノ權ヲ失ヒタル片ニ出タサルヲナリ○特許ヲ與フルコトハ紙幣ノ中ニ贖物ノ通用スルモノアルコトノ証明サレタル片ニ限ル可シ○何レノ場合ニ於テモ聯邦議院ハ貨幣取回シノタメニ出タス可キ報告



ノ方法負數及ヒ度數ヲ差圖シ紙幣ヲ収贖スヘキ時限及ヒ場所ヲ差圖シ取回時限ノ満テタル後ニ紙幣ヲ収贖スヘキ規則ヲ差圖シ且ツ其他何レノ方法ニ拘ハラズ帛幣所持人ノ保護ノ為メ所要ナル可キ諸ノ方法ヲ差圖スベシ○右件々ノ為メ聯邦議院ニテ取定メタル諸規則ハレ  
一クスケセツトブツト公報中ニ之レヲ刷行スベシ

第七節

紙幣ヲ發行スル銀行ハ何レモ左ノ権ヲ有セザ

ルベシ

第一為替手形ノ仕拂ヲ引受クル事

第二銀行自己ノ勘定ニテモ又ハ他人ノ勘定ニ

テモ商品又ハ株式相庭會所ノ抵當物ヲ限月ニ

テ賣買スル或ハ又斯クノ如キ限月賣買ノ践

約ヲ擔保スル事

第八節

紙幣ヲ發行スル銀行ハ自費ヲ以テレイクスア

ンセーケル公報中ニ左ノ件々ヲ掲載スベシ

第一毎月七日十五日二十三日及ヒ月末ノ日ニ



於テノ銀行ノ賞産及ヒ負債ノ記載ヲ右期日  
後々遅クトモ第五日目ニ告知スベシ  
第二銀行會計年ノ終リタル後遅クトモ三個月  
以内ニ其年間ノ賞産及ヒ借債ノ詳細ナル比較  
表并ニ利潤及ヒ損失ノ勘定書ヲ告知スベシ  
毎週日ノ報告ニハ左ニ掲ケタル諸色ノ惣高ヲ  
記載スベキナリ

第一負債ト題スル部ニハ募集シタル株金準備  
金現在通用ノ紙幣請求次第ニ仕拂ヒヲ做ス可  
キ他ノ負債報知ヲ經テ仕拂ヲ做ス可キ負債其

餘ノ負債ノ高

第二賞産ト題スル部ニハ貨幣及ヒ金銀錠子ノ  
資本(即チ日耳曼通用金及ヒ金錠子或ハ外國貨  
幣ノ資本金ナリ但シ此金錠子及ヒ外國貨幣ハ  
純金目方一封度<sup>日耳曼</sup>封度<sup>日耳曼</sup>ヲ千三百九十二マルク  
トシテ計算スルモノナリ)レークスカラセンセイ  
ン(帝國幣)他ノ銀行ノ貨幣為替手形ロシヤルト  
アトウアンス(即チ低當物<sup>ル</sup>取リ)動産其餘ノ賞産  
ノ高

聯邦議院ハ一年間ノ比較表中ニ於テ古賞産及



ト負債ノ何レノ部分ヲ格別ニ揭示スハキヤリ  
 決定スヘシ○右兩報告トモ他人ノ手ニ入リタ  
 ル所ノ内國為替手形ニ就キテノ不時ノ負債ノ  
 如キハ格別ニ之ヲ揭示セズンバアルベカラス  
 第九節

銀行紙幣ノ通用高其銀行ノ現金高ヲ越ヘ又ハ  
 卷末ニ附シタル表ニ於テ銀行ニ割附ケタル所  
 ノ高ヲ越スルハ其銀行ハ千八百七十六年一月  
 一日ヨリ右越ヘ高ニ付キ五先ノ稅ヲ毎年租稅  
 院ニ拂フヘシ○此稅ヲ計算スルニ日耳曼通用

正金、レリタスカッセンセイシ他ノ日耳曼銀行ノ  
 紙幣、金錠子及ヒ外國金貨ハ之ヲ現金トシテ算  
 スヘシ但シ此金錠子及ヒ外國金貨ハ前ニモ示  
 シタル如ク純金ノ目方一封度<sup>日耳曼</sup>ヲ千三百  
 九十二ニマ一クトシテ計算スヘシ○若シ一ノ銀  
 行ニテ紙幣發行ノ權ヲ失フトキハ<sup>第九節</sup>無稅  
 ニテ無低當紙幣ヲ發行スルノ權利ニ付キテノ  
 右銀行ノ<sup>股分</sup>ハ帝國銀行ノ手ニ落ツ可シ  
 第十節  
 各銀行ノ管理局ハ其銀行ニテ當然ニ納ケルキ



稅額ヲ定ムル為メ毎月七日十五日二十三日及  
 ヒ月末ノ日ニ於テ現金ノ資本并ニ紙幣通用ノ  
 惣額ヲ取調ヘ而シテ此勘定書ヲ帝國驗數官ヘ  
 差出スヘシ〇毎年ノ終末ニ於テ驗數職ノ官負  
 ハ右勘定書ニ基キ各銀行ヨリ納ムヘキ稅額ヲ  
 左ニ掲ケル數ニ於テ定ムヘシ即チ各個ノ勘定  
 書ニ夫々附ケタル稅ヲ拂フヘキ不低當紙幣ノ  
 溢數ノ四十八分五厘ヲ稅額ノ部分トシテ算ス  
 ヘシ而シテ斯ノ如ク逐一ニ計算シタル稅ノ惣  
 計ハ則チ其銀行ニテ遲クモ翌年一月三十一日

迄ニ租稅院ニ拂ハサルヲ得サル稅額ナリトス

第十一節

外國ノ銀行紙幣及ヒ無利息ニテ所持人ニ發行  
 シタル外國ノ會社コレボレーション或ハ各個人民ノ諸手形  
 ハ仕拂方ニ用ユヘカラス但シ此種ノ證券ハ專  
 ヲ之レヲ用ユルモ或ハ日耳曼帝國ノ通貨又ハ  
 日耳曼國ノ某邦ノ通貨トシテ發行シタル他ノ  
 證券ト取交ヘテ之ヲ用ユルモ一切禁制タルベ  
 キナリ

第二篇 帝國銀行



第十二節

帝國ノ管治ヲ受テ指揮ニ從テ帝國銀行ヲ唱フ  
 ル一銀行ヲ設立スベシ○此銀行ハ法律上ニテ  
 ハ一人ト看做サレ而シテ日耳曼帝國ノ全部ニ  
 貨幣ノ通用ヲ齊整セシソ諸仕拂ノ清算方ヲ便  
 利ニシテ使用スベキ資本金ヲ用ユルヲ職掌ト  
 スベシ○此ノ帝國銀行ハ伯靈ニ於テ其首店ヲ  
 有シ而シテ帝國中ノ某地ニ於テモ其支店ヲ設  
 クルヲコトヲ得ヘシ○聯邦議院ハ某地ニ斯ク  
 ノ如キ支店ヲ設立セントスル片ハ之レニ必須

ナル所ノ命令ヲ下シ得ベシ

第十三節

帝國銀行ハ左ニ掲載セル種類ノ事業ヲ營ミ得

ベシ

第一金銀錠子及ヒ金銀貨幣ヲ賣買スル事

第二通用三個月ヲ限リタル手形ニシテ右負債

ヲ償ヒ得可キ身代ノ者通例三人或ハ少クトモ

二人アリテ其責ニ任スル片ハ右手形ヲ割引ナ

シ及ヒ賣買スル度且又帝國ノ諸証券又ハ日耳

曼國ノ其邦或ハ外國地方會社ノ諸券類ニシテ



遅クモ三個月以内其券面ニ記載シタル價ニ  
仕拂ハルベキモノハ之ヲ割引テ及賣買ス  
ル事

第三 三個月ヲ限リ動産ノ抵當物ヲ取リ  
ルトアドロンス利息附キノ貸金ヲ做ス  
右低當物トナスヘキモノハ次ノ如シ  
甲 金銀貨幣  
金銀錠子乙 所持人ニ仕拂ハル可キ日耳曼帝國  
ノ證書或ハ日耳曼中ノ某一邦ノ證書内國地方  
會社ノ證書ニシテ利息ヲ生スルカ或ハ否ラザ  
レバ一年以内仕拂ヲナサルベキ所ノ証書又ハ利

息附キニテ所持人ニ仕拂ハル可キ所ノ證書ニ  
シテ帝國ニテ保證シタルカ或ハ否ラザレハ日  
耳曼諸邦中ノ一邦ニテ保證シタル證書又ハ既  
テニ開業シタル鐵道會社ノ仕拂皆濟ノ株式利  
潤先取りノ負債證書并ニ又各本銀行及ヒ協力  
典物銀行但ヒ右銀行ハ一地方一教會地或ハ一  
國ノ管轄ヲ受クルモノタルベシノ負債證書十  
リ右證書類ハ高クモ其價ノ四令ニテ之ヲ引  
受クベシ丙 所持人ニ仕拂ハル可クシテ利息ヲ  
生スル所ノ諸外國ノ證書及ヒ一國ニテ保證シ



タル外國鐵道ノ利潤先取リ、證書ナリ古證書  
 類ハ高ク凡其價ノ五割ニテ之ヲ引受クベシ  
 債債ノカアル身代ノ者ニ依テ保證シタル手形  
 ナリ右ハ少ク凡其價ノ五割ノ減價ヲ以テ之ヲ  
 引受ク可シ  
 戊日耳曼國內ノ倉庫中ニ典物トシ  
 テ置カレタル高貨ナリ右ハ高クトモ其價ノ三  
 分ニニテ之ヲ引受クベシ

第四第三ノ乙ニ於テ示シタル規定ヲ以テ鐵道  
 會社ノ欠單ヲ賣買スル事但ニ帝國銀行ノ流用  
 本金ヲ幾何ノ高迄テハ右ノ如キ鐵道會社ノ欠

單ニ使用シテ可ナルヤハ帝國銀行ノ主司ノ為  
 メニ設タル指令ニテ之ヲ決定スベシ

第五各個人商行或ハ役人ノタメニ金ヲ取集ル  
 事豫メ保證サレタル仕拂ヲ引受ル事支店又ハ  
 通信者ニ宛テ、切手或ハ手形ヲ出タス事

第六金銀又ハ何等ノ動産ニテモ前以テ保證サ  
 レタルキハ他人ノタメニ之ヲ買ヒ而シテ相當  
 ニ交付サレタル後ナシ之レヲ賣却スル事

第七預金及ヒキロトシテ利子附キカ又ハ無利  
 息ニテ預金ヲ引受ル事但ニ利足附キノ預金ノ



高ハ銀行ノ資本金高ト準備金ノ高トヲ較スル  
カラス

第八高價ナル貨物ノ委託及ヒ其取扱ヲ引受ス  
第十四節

帝國ノ銀行ハ其紙幣ヲ以テ金塊ト引替ユルニ  
ハ金ノ目方一封度ニ付キ千三百九十二ニ  
ノ價ニテ之ヲ引替ヘザル可ラス而シテ右金塊  
ハ其差出シ人ノ費用ヲ以テ其銀行ニテ命シタ  
ル巧者ナル試金師ヲシテ之レヲ分析セシムル  
コトヲ得ヤシ

第十五節

帝國銀行ハ其銀行ノ割引ノ相庭相庭十三節ノ二及ヒ  
其貸金ノ利息ノ相庭相庭十三節ノ三ヲ公告セザル  
可ラス○每週日ノ報告ハ帝國銀行ノ主司ノ諸  
帳簿或ハ直々ニ其銀行ニ属スル支店ノ主司ノ  
諸帳簿ニ基カサルベカラス

第十六節

帝國銀行ハ其事業ノ所要ニ應ジテ紙幣ヲ發行  
スルヲ得可シ而シテ其紙幣ヲ製造シ發行  
取回シ又ハ滅却スルヲハ帝國々債掛ノ責任ノ



差圖ヲ受ケテ做ス可キナリ仁之右ノ事ヲ行フ  
節ハ帝ノ命ニテ國債掛ノ委負中ニ一頁ヲ差加  
ユベシ

第十七節

帝國銀行ハ其金櫃中ニ少クモ現在通用ノ紙幣  
高ノ三分一ヲ日耳曼通用金帝國ノ合法通債債  
ニ幣幣又ハ金ノ目方一封度ニ付キ千三百九十  
ニマ一タノ割ニテ計算シタル金錠子若シクハ  
外國貨幣ニテ所有セサル可ラズ而シテ現在通  
用貨幣高ノ残リノ分ハ遲クトモ三個月以内ニ

拂期限トナルヤキ割引キシタル手形ヲ以テ其  
代物ニ供シ置クヘシ但シ右手形ハ債債ノカア  
ル身代ノ者通例三人或ハ少クモ二人アリテ之  
レカ責ニ任シタルモノナルヤシ

第十八節

帝國銀行ハ其貨幣ヲ收贖セサルヤカラス甲伯  
靈ノ重モナル營業所ニ於テハ持參次第之ヲ收  
贖スベシ乙帝國銀行ノ資本ノ及フタケハ諸支  
店ニ於テ之ヲ收贖スベシ但シ右何レノ場合ニ  
於テモ日耳曼通用貨ヲ以テ之ヲ收贖スル可キ



十リ

第十九節

帝國銀行ハ第四十八節ニ掲ケタル諸銀行ノ幣  
 幣ヲ其表面ニ記シタル全價ニテ仕拂方ニ受取  
 ラサル可ラス而シテ右ハ独リ伯靈ニ於テノ三  
 十ヲ人口八萬ヲ越ヘタル市城ニ設立シタル  
 惣ヘテノ支店ニ於テ然カナスバ夕且ツ幣幣ヲ  
 發行シタル銀行ノ所在ノ地ニ於テモ然カナス  
 可シ併シ十カラ右ハ其銀行ニテ幣幣ノ仕拂方  
 ノ規定ヲ嚴ニ遵守スル間夕ニ限ルバシ斯ケノ

如キ振合ニテ引受ケタル幣幣ハ收贖ノ為ナニ  
 之ヲ差送ルカ或ハ右幣幣ヲ發行シタル銀行所  
 在ノ市城ニ於テ仕拂トシテ之ヲ使用スルルカ或  
 ハ其銀行ハノ仕拂方トシテ之ヲ使用スルカ  
 リ○帝國銀行ハ他ノ日耳曼諸銀行ト協議ヲ遂  
 ケ之レニ因テ是等ノ諸銀行ヲシテ幣幣ヲ發行  
 スル權ヲ棄捐セシムルコトヲ得ヤシ

第二十節

第十三節ノ三ニ於テ定メタル振合ニ於テ引受  
 ケタル貸金ノ積仔萬一過失アル片ハ銀行ハ裁



判局ノ許可ヲ要セスシテ右債仔ヨリ受取リ置  
 キタル抵當物ヲ其銀行役員ノ一人カ又ハ競賣  
 人ヲシテ賣却セシムヤキ權ヲ有スベシ○若シ  
 右抵當物カ時價ヲ有スルモノナルハ公賣ニ  
 依ラズシテ役員牙僧或ハ他ノ競賣ヲ做シ能フ  
 可キ人ヲシテ公賣法ヲ用ヒス當日ノ時價ヲ以  
 テ之ヲ賣却セシムルモ可ナリ而シテ銀行ハ右  
 賣上ケ高ヨリ元金利息及ヒ諸入費ヲ受取ルベ  
 シ銀行ハ他ノ債仔等ニモ又債仔ノ並保ニモ右  
 權利ヲ施用スルコトヲ得ベシ

第二十一節

帝國銀行及ヒ其支店ハ歲入税及ヒ職業税ヲ免  
 カルベシ

第二十二節

帝國銀行ハ謝銀ヲ受クルコトナクシテ帝國ノ  
 為ノ仕拂ヲ引受ケ而シテ帝國ノ貸金ノ高三及  
 ホク迄テ右ノ仕拂ヲ引受ケベシ又同様ノ事業  
 ヲ日耳曼各邦ノタメニ引受クベシ

第二十三節

帝國銀行ノ資本ハ總計一億二千萬マークニシ



テ之ヲ四萬株ニ分割シ一株ヲ三千マリアスト  
定メタリ但シ記名株式ナリ○株主ハ帝國銀行  
ノ負債ノ責ヲ自個ニテハ任スルコトナカルベ  
シ

第二十四節

毎年ノ終末ニ於テ生シタル純益金ハ下ニ掲出  
シタル振合ヲ以テ之ヲ使用スベシ **第一** 株主ハ  
第一ニ資本ノ四分五厘ノ割合ニテ割賦金ヲ請  
取ルベシ **第二** 右殘金ノ二割ヲ準備金中ニ差向  
クベシ但シ準備金ノ高資本ノ四分一二及ハザ

ノ間ハ右ノ如ク做ス可シ **第三** 右ニ割ノ金額ヲ  
引去リタル殘金ノ一半ヲハ株主ノ割賦金ハ分  
ニ越ヘサル間ハ株主ニ拂フベシ他ノ一半ハ租  
稅院ニ廻ハス可シ○其餘ノ殘額ノ四分三ハ帝  
國租稅院ニ廻ハシ四分一ハ株主ニ交付ス可シ  
○若シ純益金ノ高資本ノ四分五厘ニ及ハハル  
トキハ其不足ハ準備金ヲ以テ補ハサルヘカラ  
ス○若シ其株主ヲ株式面ノ價ヨリモ高キ價ニ  
テ發行スルトキハ斯クノ如クニシテ獲タル金  
高ハ之ヲ準備金ノ中ニ差入フベシ○株主ハ拂



渡ス可キ割賦金ハ其拂渡一期日ヨリ四年ヲ  
過クル片ハ銀行ハ之ヲ有スルノ権アルベシ  
第二十五節

政府ニテ取扱フ可キ銀行事務ノ管理ハ銀行管  
理議院ニテ之ヲ施行スベシ右議院ハ帝國ノ千  
ヤニセロルヲ議長ト做之レニ属スル四名ノ  
議員ニテ設立スルモノナリ○此四名ノ議員中  
一名ハ帝ヨリ之ヲ命シ他ノ三名ハ聯邦議院ニ  
テ之ヲ命スヘシ○此銀行管理議院ハ一年間ニ  
四度ノ集會ヲ做シ而シテ銀行ノ模様并ニ銀行

ニ關係シタル諸件ノ報聞書ヲ請取り且又銀行  
ノ引受ケテ營ミタル諸商業ノ會計ノ總記載并  
ニ銀行ニテ設ケタル規則ヲ其院ニ差出サシム  
ルヲ掌ルベシ

第二十六節

政府ニテ取扱フベキ銀行事務ノ指令ニ至テハ  
帝國ノ千アレセ足及ヒ其配下ノ帝國銀行首司之  
レヲ行フ可シ若シ千アレセロル其職務ヲ奉シ能  
ハサルトアルトキハ其間代テ事ヲ執ル代理者  
ヲ帝ヨリ命スヘシ○千アレセロル此條例ノ規



定并ニ第四十節ノ旨ニ從テ設クハキ規則ヲ  
 遵奉シ總テノ管理方ヲ指令スベシ○トクアセセロ  
 凡ハ帝國銀行主司ノ為メ及ヒ銀行支店ノ為メ  
 并ニ銀行役員ノ為メノ規則及ヒ指令ヲ設クハ  
 シ○トクアセセロルノ外右ノ規則并ニ指令ヲ變革  
 スルコトアルヤカラス

第二十七節

帝國銀行主司ハ銀行事務ヲ管理シ而シテ銀行  
 ノ名代ヲ做ス所ノ役員タリ○右主司ハ理長一  
 名ト列嶺若干トテ組立テタルモノニシテ投票

ノ多數ニ依テ事ヲ決定シ而シテ諸事務ノ屬  
 ニ付キテ總テ<sup>トクア</sup>ンセロルヨリノ指令ヲ受ク  
 可シ○銀行主司ノ理長及ヒ列嶺ハ聯邦議院ノ  
 建言ヲ以テ帝ヨリ一生間其ノ職ニ任セラル可  
 シ

第二十八節

帝國銀行ノ役員ハ帝國官吏ノ權利及ヒ職分ヲ  
 有スベシ○銀行役員ノ給料給與銀及ヒ其他職  
 務ノ為メニ給スル報金并ニ生殘リタル親戚ノ  
 給與銀并ニ養育金ハ皆十銀行ニ引受クハシ



○銀行主司ノ役料給與銀ノ多寡ハ帝國ノ豫算書表ニ於テ年々之ヲ定メ其他ノ役員ノ役料等ノ多寡ハ千アニセロルヨリノ建言ヲ以テ聯邦議院ト合同ノ上帝國之レヲ定ムヘシ○銀行ノ役員ハ決シテ銀行ノ株主タル可カラズ

第二十九節

帝國銀行ノ計算書ハ之レヲ日耳曼帝國ノ驗數衙門<sup>リフト</sup>ハ差出ス可シ○毎年ノ計算書ノ體裁ハ千ア<sup>リフト</sup>シセロル之レヲ決定スヘシ○然レ共其指令ヲ下タスニハ驗數衙門ト商議スベシ

第三十節

諸株主ハ一般會議ヲ做シ且其夥伴中ヨリ委員ヲ撰擧スルニ因テ銀行事務ノ管治方ニ與カルノ權利ヲ有ス可シ○然レ共株主ハ左ノ規則ヲ遵奉セサル可ラス

第三十一節

セツツラルコムニテハ銀行ノ經理ニ關係シタル何レノ事務ニ付キテモ常ニ諸株主ノ代理タルモノナリ○右セシツラルコムニテハ十五名ノ列員ト其外ニ撰擧セル十五名ノ代理者



トニテ組立テタルモノナリ○右ノ列員及ヒ代理者ハ自身ノ名目ニテ少クトモ三株有セル株主中ヨリ選舉セラルベシ○總ヘテ右ノ列員及ヒ代理者ハ帝國中ニ住居セサルヘカラス而シテ少クトモ九名ノ列員ト九名ノ代理者トハ伯靈府内ニ住居セサル可ラス○右列員ノ三分一ハ年々退職スルナリ然レトモ再度選舉セラルコトヲ得ベシ○セシワラルコトニテハ銀行主司ノ理長ヲ會主トシテ少クトモ二月ニ一回ノ集會ヲ做スベシ銀行主司ノ理長ハ亦臨時

ノ集會ヲ催スヲアルベシ○此ノ集會ハ少クトモ七名ノ列員ヲ出席定數ト做スベシ而シテ何時且如何ナル輪番ニ於テ列員ノ代理者ヲ招集スヘキヤハ詳細ノ指令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十二節

セシワラルコトニテハ利息ノ豫析為換手形及ヒ貸金ニ付キテノ模様希幣ノ融通貯蓄現金預リ金又ハ金為換手形及ヒ動産ノ賣買并ニ支店ハノ資本分配ニ付キテノ模様ヲ記セル毎週報聞ヲ月々其手許トハ差出サシムヘシ○セシワ



ラルコトニツテハ又銀行ノ貯蓄現銀ノ通常ノ再  
 査及ヒ臨時ノ再査ノ結果并ニ又銀行一般ノ事  
 務及ヒ緊要ノ規則ニ付キテノ銀行主司ノ意見  
 及ヒ建言ヲ其手許トヘ通達セシムベシ〇センツ  
 ラルコトニツテハ右ノ外ニ又左ノ件々ニ付キ其  
 意見ヲ陳述シ得ベシ則チ(イ)銀行ノ差引計算及  
 ヒ利得ノ計算ニ付キ其意見ヲ陳述シ得ヘシ但  
 シ右計算ハ十二月ノ終末ニ於テ銀行主司之レ  
 ヲ作り帝國片アニセロルハ差出シチアシセロル之  
 レヲ完結シ一般ノ集會ニ於テ諸株主ヘ報知セ

ルモノナリ(ロ)役料及ヒ給與銀ノ規定ヲ改革ス  
 ルヲニ付キ其意見ヲ陳述シ得ベシ(第二十八節)  
 (ハ)銀行主司ノ缺負ヲ補フタメノ二人ヲ撰舉スル  
 一ニ付キ其意見ヲ陳述シ得ベシ但シ理長ヲ撰  
 舉スル一ハ此ノ例外タルベシ〇理長ヲ撰舉ス  
 ルヲニ付キテハセンツラルコトニツテト評議  
 ノ上聯邦議院之レヲ決定スヘシ(第二十七節)(ニ)  
 銀行資本ノ内貸金トシテ使用シ得可キ金額ヲ  
 定ムル一ニ付キ其意見ヲ陳述シ得ヘシ〇動産  
 買入レニ付キテハ其用ニ供スベキ金額ヲセシ



ツテルユニツテノ許諾ニテ定メタル時必ス銀  
 行ノ名ヲ以テ買入ルヤシホ為換割引ノ相庭及  
 ヒ貸金ノ利息並ニ貸附方ノ規則及ヒ時限ヲ改  
 草スル丁ニ付キ其意見ヲ陳述シ得ヘシ(八)日且  
 曼ノ他ノ銀行トノ約定(第十九節)又ハ他ノ銀行  
 トノ取引キニ付キ遵守スヘキ定法ニ付キ其意  
 見ヲ陳述シ得可シ○銀行役員ニ授與シタル一  
 般ノ指令ハ公布次第速カニ之レヲモシツル  
 ヲムニツテ一へ通達セシムベシ(第二十六節)

第三十三節

セシツテユニツテノ列員ハ其奉職ノタメ報  
 銀ヲ受ク可カラス○若シ列員ノ内銀行ノ密事  
 ヲ漏スカ(第三十九節)或ハ列員ノ地位ニテ受取  
 リタル報知ヲ妄用スルカ或ハ何等ノ原因ヲ論  
 セス世上ノ信ヲ失フコトアルカ或ハ又々如何ナル  
 仕方ヲ論セス銀行ノ利益ヲ損害スル如キ處置  
 ノ見ユルコトアルトキハ其者ハ一般集會ニ因リ  
 テ列員ヲ除名スヘシ○破産ニ及ヒタル列員或  
 ハ六ヶ月間集會ニ出席セザル列員又ハ其任ニ當  
 タルニ必要ナル約束(第三十一節)ヲ踐行セザル



列員ハ最早列員ト看做サ、ルベシ

第三十四節

銀行ノ事務ヲ絶ヘス特別ニ統轄スルコトハセン  
 ツラルコムニッテノ内ヨリ一年間選舉セル三名  
 ノ委員ト之レニ同數ナル代理者トニテ之レヲ  
 取行フベシ○何時且何レノ輪番ニ於テ代理者  
 ヲ呼出スヘキヤハ詳細ノ規則ヲ以テ之ヲ定ム  
 ベシ○右ノセンツラルコムニッテノ内ヨリ選  
 舉シタル委員ハ銀行主司ノ諸集會ニ出席シ而  
 シテ其意見ヲ陳述スル權利ヲ有スベシ○且右

ノ委員ハ銀行主司ノ一員ノ面前ニ於テ且ツ通  
 常ノ事務取扱ヒノ時間ニ於テ銀行事務ノ景況  
 諸賬簿及ヒ書類ヲ検査シ又銀行ノ貯蓄現金ノ  
 通常再査及ヒ臨時再査ニ於テ列席スルノ權利  
 及ヒ職掌ヲ有スベシ○右委員ハ其取行ヒタル  
 事件ヲセンツラルコムニッテノ毎月集會ニ於テ  
 報告スベシ○若シ右委員ノ内ニテ其所業第二  
 篇第三十三節ニ揭示シタル事情ニ涉リシ者ア  
 リタル時ハセンツラルコムニッテハ一般集會ノ  
 許可ヲ待タスシテ直チニ其者ヲ除名スベシ



第三十五節

銀行ハ此條例又ハ銀行ノ諸條例ニテ定メタル  
 制限内ニアラザレハ帝國或ハ日耳曼聯邦ノ錢  
 銀ノ經理ニ關セル事務ヲ取行フヘカラス而シ  
 テ何等ノ事務ヲ銀行ノ一般章程内ニアラサ  
 ルモノハ委員ノ許可ヲ經タル後ニアラザレハ  
 之ヲ取行フベカラス○若シ右委員中只一名  
 ニテモ不諾ノ者アル時ハ其事務ヲセンツラ  
 ルコトニツテハ差出スベシ○法ヲ以テ多數ト  
 定メタルセシツラルコトニツテノ列員カ其事

務ノ施行ヲ許諾セサルトキハ之ヲ取行フベカ  
 ラス

第三十六節

聯邦議院ハ帝國銀行ノ一大本店ヲ設立スヘキ  
 場所ヲ定ムルノ外他ノ諸本店ヲ取設クヘキ場  
 所ヲ定ムヘシ○右ノ諸本店ハ少クトモ二名ノ  
 列員ニテ組立テタル主司ト帝ノ撰擧ミタル銀  
 行委員トノ管轄ヲ受クベシ○各個ノ帝國銀行  
 本店ハ若シ其設立サレタル場所ニ於テ十分十  
 ル數ノ株主アルトキハアロウイニアルコトニツ



テーヲ設クヘシ此委員ニ列スル者ハ銀行委員  
 及ヒセシワフルコムニッテーヨリ差出シタル株  
 主ノ姓名簿ノ内ヨリ帝國ノ午工ンセロル之ヲ  
 撰擇スベシ○右ノ株主ハ銀行ノ本店ヲ設ケタ  
 ル地カ又ハ直キニ其地ニ接シタル地ニ住居ス  
 ヘシ○若アロウインシアルコムニッテーハ毎月集  
 會ヲ做スヘシ而シテ其集會ノ時ニ於テ本店ノ  
 事務ニ付キテノ報聞及ヒ<sup>セツル</sup>首府事務監督局ヨリ  
 授與シタル指令ヲ其席ヘ<sup>アトミスト</sup>通達セシムヘシ○右  
 フロウインシアルコムニッテーノ做サント欲スル

建言ニシテ右本店ノ主司カ不同意ナル建言ハ  
 總ヘテ之レヲ報聞中ニ記載シテ<sup>キヤン</sup>セロルハ  
 差出シ其可否ヲ請フベシ○銀行ノ本店ニ於テ  
 營ノル事務ヲ絶ヘス特別ニ管轄スル<sup>ト</sup>ハアロ  
 ウインシアルコムニッテーカ其列員中ヨリ撰擇ス  
 ルカ或ハ又右コムニッテーノアラガル地ニ於テ  
 ハ帝國ノ午工ンセロルヨリ命シタルニ名或ハ  
 三名ノ委員ニテ第三十四節ニ掲載シタルカ如  
 ク之ヲ行フヘシ但シ其管轄ヲ做スヤ銀行ノ目  
 クノ事務ヲ障礙スル<sup>ト</sup>アルベカラズ



第三十七節

帝國ノ銀行主司カ直ニ管轄スル所ノ總ヘテ  
 他ノ支店ハチアソセロル自身ニ之ヲ設立ス  
 ベシ而シテ他ノ支店ノ管轄ヲ受クベキ支店ハ  
 銀行主司之ヲ設立スヘシ

第三十八節

帝國銀行ハ帝國銀行主司ノ花押或ハ其諸本店  
 中ノ一本店ノ主司ノ花押アルトキハ其責メニ  
 當タラサル可ラス假令法律ヲ以テ右ノ花押ノ  
 為メニ特別ナル權利ヲ與ヘタル場合ニ於ケル

モ亦其責ニ當タラサル可ラス○然レモ其花押  
 ハ銀行ノ主司ノ二名カ或ハ本店ノ主司局ノ二  
 名或ハ否ラサレハ其代理者ニテ做サレ可ラ  
 ス○如何ナル事情且如何ナル体式ニ於テ銀行  
 役員ノ花押ノアルトキ帝國銀行ヲシテ責メニ  
 當ラシムヤノ廉トニ付キテハチアソセロルハ夫  
 ヲ詳細ノ規則ヲ公布スヘシ○帝國銀行ノ諸本  
 店或ハ諸支店ノ事務ニ對セル訟事ハ右銀行ノ  
 支店ノ設ケアル地方ノ<sup>裁判官衙門</sup>へ訴出ツルコ  
 ヲ得ベシ



第三十九節

諸役員コトニツテノ列員委員ホノ如キ銀行ニ  
 附属シタル總ヘテノ人々ハ銀行事務ニ關セル  
 事件ニ付キテハ他言スルヲ得ス殊トニ私ノ  
 人々トノ間ニ事務或ハ私ノ人々ヘノ貸金ニ關  
 シテハ他言スルヲ得サルナリ○セシツルコ  
 トニツテノ選擇シタル委員及ヒ其代理者並ニ  
 地方本店ノコトニツテハ誓約ヲ做スノ代リニ  
 握手シテ他言セサルノ約束ヲ做スベシ

第四十節

第十二節ヨリ第三十九節迄ノ趣意ニ從ヒ聯  
 邦議院ト合同ノ上ヘ帝ハ帝國銀行為メノ諸條  
 例ヲ設立スベシ○右ノ諸條例ハ左ノ件々ニ付  
 キテノ規則ヲ載スベシ  
 第一株式及ヒ株式ニ附  
 屬シタル利札ノ体式  
 第二株式ヲ讓渡シ或ハ取  
 上ケル時遵奉スベキ法式  
 第三喪失シタル株式  
 喪失シタル利札ヲ廢弛スルヲ并ニ斯ノ如キ株式  
 ニ附属セル利札ノ取扱方  
 第四帝國銀行ノ毎年  
 ノ差引計算ヲ立ツルニ基本トスベキ規法  
 第五  
 割賦金仕拂ヒノ期限立ニ法式  
 第六集會ヲ催ス



番言抄  
為メノ法式及ヒ株主ノ投票スル方法但シ如何  
ナル規則ニテモ一ト株ヲ有シタル株主ヲシテ一  
ノ投票ヲ做スヲ得サラシムルトアルベカラス  
又一人ヲシテ一百以上ノ投票ヲ做サシムル  
アルベカラス(第七)センツラルコムニツテ一ヲ選  
シ及ヒ其委任ヲ選舉シ又ハアロウインシアルコ  
ムニツテ一並ニ其代理者ヲ撰舉スルノ法式第  
八社中ヨリ出ス所ノ廣告ノ一ニ付キ遵奉スヘ  
キ法式及ヒ右廣告ヲ掲載スヘキ公ケノ新聞紙  
第九 帝國銀行ノ閉店(第四十一節)後ノ銀行ノ

計算ヲ完結スルトニ付キテノ方法第十 銀行ノ  
資本ヲ帝國ノ條例ニテ定メタル金額ニ定テ増  
加セシムルトニ付キ株主或ハ其代理人ノ協力  
不可キ方法(第十一)他人ノ委任ヲ受ケ銀行ニテ  
動産ヲ賣買スルトキ銀行ニ取置ク可キ抵當物  
ニ付キテノ規則

第四十一節

帝國政府ハ千八百九十一年一月一日ニ於テ左  
ノ權ヲ有ス可シ(甲)此條例ヲ以テ設立シタル銀  
行ヲ閉店シ而シテ銀行ノ所有地ヲ其賬簿面ノ



價值ヲ以テ收取スル事(乙)銀行ノ株式ヲ株式面  
ノ價值ニテ收取スル事(丙)右權利ハ十年毎トニ  
有スルヲ得ヘシ○政府ハ若シ右ノ權利ヲ實  
際ニ施サントスルトキハ其一年前皇帝ヨリノ  
命令書ヲ以テ(丁)銀行主司ハ報知  
ス可シ但シ此ノ命令書ハ聯邦議院ノ准許ヲ経  
タルモノニシテ銀行主司ノ應サニ公布スベキ  
所ノモノナリ

第三篇 私ノ紙幣ヲ發行スル銀行

第四十二節

此條例ヲ布告スル時ニ於テ紙幣發行ノ權利ヲ  
有シタル所ノ銀行ハ條例布告ノ後ハ其事業ヲ  
引續テ取行フベカラス又ハ管事者ヲシテ其事  
業ヲ取行ハシムベカラス又ハ紙幣發行ノ權利  
ヲ受得タル邦ヲ除クノ外總ヘテ他ノ邦ニ在ル  
銀行ノ仲間ニ入ル可カラス

第四十三節

此條例ヲ布告スル時ニ於テ紙幣發行ノ權利ヲ  
有シタル所ノ銀行ノ紙幣ハ右ノ權利ヲ受得タ  
ル邦ヲ除クノ外總テ他ノ邦ニ於テ之ヲ任拂方



ニ用ユヘカラス。○然レトモ右ノ紙幣ハ他ノ銀行紙幣或ハ現銀ト更換スルヲ得可シ

第四十四節

第四十三節ニ掲載シタル制限ハ千八百七十六年一月一日迄ニ在リ條款ヲ踐行セル銀行ニハ施スヲ要セザルナリ(第一)銀行ハ唯、第十三節中ノ第一ヨリ第四ニ至ル條款殊トニ第四條款ノ事業ニ於テ其流用資本金ヲ用ヒ得ヘキ事而シテ其金高ハ多クトモ資本金及ヒ準備金ノ半ハヲ超エヘカラザル事○銀行ノ貸附ケ事業

ヲシテ第十三節中ノ第三條ノ規則ニ歸セシムル為メノ終末ノ時限ハ千八百七十七年一月一日定ナラレタル事○銀行ハ其々ノ時期ニ於テ為換ノ割引相庭及ヒ貸金ノ利息相庭ヲ公布スベキ事(第二)銀行ハ四分五厘ノ上ニ出テタル純益金ノ内ヨリ二割ヲ引キ之レヲ準備金ハ差向ケ準備金ノ高銀行資本金ノ四分ノ一二充タサル間タハ斯ク取計ヲヘキ事(第三)銀行ハ現在流通セル貨幣高ノ三分ノ一二當ル可キ金額ヲ日耳曼ノ通宝或ハ帝國ノ合法通債債ヒ紙幣或ハ



目方一磅ニ付キ一千三百九十二マールノ割ヲ  
以テ計算セル金錠子及ヒ外國貨幣ニテ其金櫃  
中ニ貯藏スヘキ事○現在流通セル紙幣ノ残リ  
ノ高ハ割引キタル為替手形ヲ以テ其抵當ト  
為ス可シ但シ右手形ハ遅クトモ三個月以内ニ  
仕拂期限ニ至ルヘキモノニシテ且通例三名而  
シテ少クトモ二名ノ慥カナル保證人アリテ其  
責メニ任シタルモノナルヘシ(第四銀行ハ伯靈  
或ハ佛郎克佛尔ノ内ニテ聯邦議院ヨリノ許可ヲ  
テ取設ケタル一箇所ニ於テ其貨幣ヲ日耳曼通

寶ニテ引替可キ事(第五銀行ハ帝國ニ於テ紙幣  
ヲ通用セシムルノ特許ヲ得タル諸銀行ノ紙幣  
ヲ其紙幣面ノ價ニテ仕拂ヒニ受取ヘク而シテ  
之レヲ其本店ニ於テ受取ルノ三十ノ不住民ノ  
數八萬以上ニ及ヘル都邑ニ於テ設立セル支店  
ニ於テモ亦之レヲ受取ルベキ事但シ貨幣ヲ發  
行スル銀行カ貨幣引換ヘノ規則ヲ遵奉セルノ  
間ハ右ノ如ク其銀行ノ貨幣ヲ受取ラザル可ク  
サレナリ○右ノ如ク受取リタル紙幣ハ之レヲ  
其紙幣ヲ發行シタル銀行ヘ送りテ引換ユルカ



或ハ其帛幣ヲ發行シタル銀行ノ本店ノ設ケアル都邑ニ於テ仕拂フカ或ハ又其帛幣ヲ發行シタル銀行ハ仕拂トシテ渡スノ外他ニ其帛幣ヲ仕拂フヘカラサル事第六右銀行ハ他ノ諸銀行ヘ授與セル紙幣發行ノ特許或ハ聯邦中ノ一邦ノ政府カ斯ノ銀行ヨリ發行シタル帛幣ヲ公ケ仕拂場所ニ於テ現金トシテ受取ルトテ廢止セル所置ニ付キ之レヲ故障スルノ權利ヲ自然有スルニ至ルトアルトモ此銀行ハ決シテ右ノ權利ヲ用ユヘカラサルトテ約束ス可キ事第七

銀行ハ四十一節ノ旨ニ從ヒ其授與サレタル帛幣發行ノ免許ヲ政府或ハ聯邦議院ヨリ一年前ノ報知ニ依テ取回サルル事且ツ聊カモ其償ヒヲ得ルトテ取回サルヘキトテ承諾スベキ事○儲テ聯邦議院ハ銀行事務ヲ整頓スルノ目的ヲ以テスルニアラザレバ紙幣發行ノ免許ヲ取回スベカラズ又ハ銀行カ此ノ條例ノ趣意ヲ遵奉セサル時ニアラサレハ右ノ免許ヲ取回スベアルベカラス○此事ヲ決定スルノ權ハ聯邦議院ニ屬ス可シ○右ニ掲載シタル第一條ヨ



リ第七條ニ至ル迄テノ條款ヲ悉皆遵奉スル所  
 ノ銀行ハ若シ其開店シタル地方ノ受府カ聯邦  
 ヲリノ許可ヲ得ルトキハ第四十二節ニ於テ取  
 定メタル地方外ニ支店ヲ設ケ又ハ管事者ヲ置  
 キテ事業ヲ営ムコトヲ得ヘシ○法律上ニ於テ許  
 シタル貨幣發行ノ高ハ千八百七十四年一月一  
 日ニ於テ募リタル資本高ヲ越ヘサルコトヲ千八  
 百七十六年一月一日迄テニ証明シ得ル所ノ銀  
 行ハ本節(第二)ノ條ニ掲載シタル件ヲ遵奉ス  
 ルヲ要セス斯クノ如キ銀行ハ紙幣ヲ發行シ且

又帝國ノ全地ニ於テ支店ヲ設立シ若シクハ管  
 事者ヲ置キ以テ事業ヲ取行フコトヲ得可シ○聯  
 邦議院ハ右ノ如キ銀行ハ時限ヲ定メス第一ノ  
 條ヲ以テ制禁シタル方法ニ於テモ貸金ヲ做ス  
 ノ權利ヲ授與スルコトヲ得可シ尤モ右ノ權利  
 ヲスルハ以前ヨリ既ニ此權利ヲ受得タル銀行  
 ニ限ルヘシ  
 聯邦議院ハ又右ノ如キ場合ニ於テ必要ナル條  
 款ヲ取極ムベシ

第四十五節



第四十四節ニ掲載シタル規則ヲ採用セント欲  
 スル銀行ハ帝國ノ千ヤンセロルハ左ノ二件ヲ  
 證明セサル可ラス(第一其諸條例ハ第四十四節  
 ニ掲載シタル條款ノ旨ニ相合ヘル事第二紙幣  
 引換イノ為メノ場所ヲ取設ケタル事〇若シ右  
 ノ二件ヲ証明シタル時ハ千ヤンセロルハ左ノ  
 二件ヲ官ノ新聞紙ニ載セテ廣告ス可シ則チ(甲)  
 第四十二節及ヒ第四十三節若クハ只四十三節  
 ニ掲載シタル制限ハ右ノ銀行ハ施スベカラザ  
 ル事(乙)右ノ銀行ノ貨幣ヲ引換ユル為メニ設ク

シタル場所

第四十六節

若シ銀行カ貨幣ヲ發行スルノ権利ヲ有スベキ  
 年限ヲ政府ノ命令或ハ其他ノ官令ニテ限ル  
 ヲ得ル時ハ此條例ハ右ノ時限ノ報知ヲ最短キ  
 合法ノ時間ニ於テ與フルモノト着做ス可シ〇  
 此規則ハ貨幣流通ノ高カ千八百七十四年ニ募  
 リタル資本高ニ超ヘス且第四十四節中ノ第一  
 條ヨリ第七條ニ至ル迄テノ條款ヲ遵奉セル銀  
 行ニ取レハ固ヨリ廢弛タルベシ〇普魯士銀行



營業ノ年限是ニ貨幣發行ノ權利ノ時限ニ付キ  
テノ條例及ヒ本條規律ハ廢止タルベシ

第四十七節

紙幣發行ノ權利ヲ既ニ有ニタル銀行ノ本律例  
諸條例及ヒ免許等ノ改正ヲ做サントスルニ若  
シ其事柄銀行ノ資本金準備金營業ノ制限發行  
貨幣ノ抵當或ハ紙幣發行ノ權利ノ年限等ニ關  
係スル時ハ總ヘテ聯邦議院ノ許可ヲ受ク可シ  
○一ノ銀行為替引換資金及ヒ預リ金等ノ事業  
ヲ制限スル為メ一邦ニ於テ取設ケタル合法ノ

規律或ハ許准ハ若シ此條例ノ諸條款中ニ記載  
サレサルトキハ上文ニ説ク所ノ規則ニ依テ制  
限サレサル可シ○聯邦議院ヨリノ許可ハ右銀  
行カ其店ヲ開キタル所ノ邦ノ政府ヲ經由シテ  
之ヲ得能フ可シ右許可ハ若シ其銀行ニテ第四  
十四節ニ掲載シタル規律ヲ遵守セサルニ於テ  
ハ之ヲ得ル能ハサル可シ○バ華里ノ政府ハ巴  
華里ノ紙幣銀行ノ紙幣發行高ヲ七千萬マール  
ク金高ニ迄テ至ラシムルノ權利ヲ有スベシ○  
右ノ政府ハ他ノ如何ナル銀行ニモ若シ其銀行



ニテ第四十四節ニ掲載セル規則ヲ遵奉スルニ於テハ右ノ權利ヲ授與スルコトヲ得ベシ

第四十八節

帝國ノ并ヤニセロルハ銀行ニテ此ノ條例ノ規則ヲ遵奉スルヤ否ヤ又ハ第四十二節及ヒ第四十三節或ハ只四十三節ニ掲載セル條款ヲ免除スルタメニ肝要ナル規定ヲ踐行スルヤ否ヤ若シクハ毎週日并ニ毎年ノ報聞第八節或ハ稅額ヲ取極ムル為メニ緊要ナル報聞第十節ハ果シテ其營業ノ真實ノ形況ニ符合セルヤ否ヤヲ査

定セシカ為メ委員ノ補助ヲ以テ何時ニテモ貨幣發行ノ銀行ノ賬簿事務取扱所及ヒ役員ヲ取調フル權利ヲ有スベシ○諸邦ノ政府ニテ夫々當然ニ施行スベキ銀行管轄ノ權利ハ此條例ノ為メニ障礙サレ、コトナカル可シ

第四十九節

銀行ハ紙幣發行ノ權利ヲ左ニ記載シタル諸ノ場合ニ於テ失フヘシ則チ第一條幣發行ノ權利ヲ授與サレタル年限ノ満キタルトキ之レヲ失フヘキ事第二若シ銀行カ自ラ其權利ヲ棄絶シ



タル時ハ之レヲ失フヘキ事第三若シ銀行ノ破  
 産シタル時ハ破産處分ノ始マリタル即日ヨリ  
 之ヲ失フヘキ事第四若シ法庭ノ裁斷ニ依リテ  
 右ノ權利ヲ取回サレタル時ハ之ヲ失フヘキ事  
 第五一邦ノ政府カ其諸條例或ハ免許ニ從ヒテ  
 做シタル裁斷ニ因リテ右ノ權利ヲ失フヘキ事  
 第五十節

銀行ノ有セル紙幣發行ノ權利ハ左ニ記載セル  
 場合ニ於テキヤニセロル或ハ又銀行ノ因忘レ  
 タル邦ノ政府ヨリ告状アリタルトキ法庭ノ裁

斷ニ依リテ之ヲ取回シ能フヘシ則チ第一流通  
 紙幣ノ抵當ニ付キテノ諸條例免許若クハ此ノ  
 條例ノ指令ニ違背シ或ハ條例免許及ヒ此條例  
 ヲ以テ定メタル流通紙幣ノ高ヲ超ヘ紙幣ヲ發  
 行シタル場合第二銀行カ第四十二節ヲ以テ禁  
 止シタル事業ヲ取行ヒタルカ或ハ又銀行カ四  
 十五節ニ掲載シタル件ヤシセロルヨリノ告知  
 ノ未タ公布ニテサレ以前四十三節ヲ以テ右  
 銀行ノ為メニ取定メタル地方外ハ貨幣ヲ流通  
 セシメタル場合第三銀行カ其正金貯藏ノ場所



へ持来リタル紙幣ヲ引替へサリシ場合則チ(甲)銀行ノ本店ニ於テハ紙幣ヲ持来リタル即日ニ於テ乙第四十四節ノ第四條ニ於ケル如ク紙幣引換ノ場所ニ於テハ紙幣ヲ持来リタル時ヨリ二十四時間ニ於テ丙銀行ノ諸條例ヲ以テ貨幣引替ノ場所ト定メタル場所ニ於テハ紙幣ヲ持来リタル時ヨリ三日内ニ於テ引換へサリシ場合第四銀行ノ資本金ガ損失ヲ受ケタル為メ三分ノ一二減却シタル片ハ場合〇備テ此訴訟ハ總テ通例訴訟ノ法式ニ從テ之ヲ做スベシ〇此

類ノ訴訟ハ帝國ノ律例ニ掲ケタル重立キタル商事訴訟中ニ属スベシ〇右訴訟ノ裁断ヲ做スニ當リ流通ノ貨幣ヲ悉皆取回スヘキ指令ヲモ共ニ下タスヘシ

### 第五十一節

右裁断ハ合法ノ勢力ヲ有シタル後ニアラズンハ之レヲ施行スヘカラス〇右裁断ハ適當ノ法庭ニ於テ之レヲ取行フベシ〇法庭ハ右裁断ヲ施行セシ為メニ銀行カ其貨幣ヲ取回ス旨ノ稟告ヲ公布スヘキ時限ヲ決定スヘシ〇若シ銀行



力破産ニ及ヒタル場合ニアラザレハ法庭ヨリ  
一人ノ受托者ヲ命スヘシ而シテ右受托者ノ職  
務ハ紙幣取回シノ監督ヲ做シ而シテ若シ銀行  
カ斯クノ如キ場合ニ當リ指揮サレタル命令ニ  
従ハサル時ハ法庭ノ手ニ於テ右銀行ノ計算ヲ  
完結セシムヲ討求スルニ在ルナリ○取回シタ  
ル所ノ紙幣ハ銀行ガ其店ヲ設立シタル地ニ於  
テ千ヤシセロルノ取定ハキ一ノ仕拂場所ヘ  
悉ク送致スベシ

第五十二節

法庭ノ裁断ガ合法ノ勢力ヲ得タル第五十節後  
六ヶ月ニ至リテ銀行ハ未タ仕拂場所ヘ送致セ  
ザル紙幣ノ高ニ均キ金高ヲ右仕拂場所ヘ送致  
スベシ○此ノ金高ハ銀行カ其貨幣ヲ送致スル  
ニ従ヒテ銀行ヘ返還サルヘシ而シテ其殘金ハ  
紙幣取回シノ終末ノ時限トテ聯邦議院ノ定メ  
タル日ニ於テ銀行ニ返還サルベシ

第五十三節

第五十一節及ヒ第五十二節ニ於テ掲載セシ如  
クニ致送シタル紙幣ハ銀行ノ受托人并ニ貨幣



ヲ貯藏セル場所ノ金藏ノ受托人ノ目前ニ於テ  
之レヲ破毀スヘシ○右紙幣ヲ破毀スルニ付キ  
法庭或ハ狀師ハ右紙幣破毀ノ詳細ヲ記録セシ  
テヲ要スルナリ○銀行ノ事務管理者ハ紙幣破  
毀ノ場所ヘ立合ハシメン為メ二人ノ委員ヲ差  
送ルテアルベシ○紙幣破毀ノ為メニ定メタル  
日ハ其日ヨリ二十八日以前ニ銀行ヘ通知スベ  
シ○紙幣ノ破毀ハ一度ニ做ステモ又ハ數度ニ  
做ステモアルヘシ

第五十四節

紙幣發行ノ銀行ニアラスシテ紙幣或ハ負債證  
券或ハ其他持參人ニ仕拂フヘキ無利息ノ負債  
證券ヲ發行スルノ權利ヲ有セル諸會社ハ此條  
例ノ第二節ヨリ第六節迄ニ掲載シタル條款及  
ヒ第四十七節ノ第一條ニ掲載セル條款ヲ遵奉  
ス可シ但シ右ノ諸會社カ其發行シタル紙幣ヲ  
流通セシメ置カント欲スルノ間々且ツ右ノ規  
則ガ紙幣發行ノ免許右免許ノ年限及ヒ發行幣  
幣ノ抵當等ニ關係スル丈ケハ然カクナスヘキ  
ナリ



第四篇 罰則

第五十五節

何人ヲ論セス免許ヲ受得スミテ紙幣或ハ其他  
無利息ノ負債證券ヲ發行スルニ於テハ其發行  
シタル紙幣高ノ十倍ノ罰金ヲ科スヘシ假令發  
行シタル紙幣ノ高五千マークノ十分ノ一二至  
ラサルトモ其罰金ハ五千マークヲ下ルヘカラ  
ス

第五十六節

何人ヲ論セス第四十三節ニ於テ紙幣流通ノ為  
メニ取極メタル地方外ニ在ル内國ノ銀行又ハ  
會社ニ屬シタル紙幣或ハ其他ノ負債證券ヲ以  
テ仕拂ヒヲ做ストキハ其額ノ罰金ヲ科スヘシ  
去レトモ此ノ罰金ハ一百五十マークヲ越ユル  
テアルヘカラス

第五十七節

何人ヲ論セス第十一節ニ掲載シタル指令ニ違  
背シ外國ノ銀行公司會社若クハ各個人民ニ屬  
シ而シテ帝國ノ通用貨幣或ハ日耳曼ノ通用貨  
幣ヲ以テ其價ヲ立テタル外國ノ紙幣或ハ其他



無利息ノ負債證券ヲ以テ仕拂ヲ做スニ於テハ  
五十マールクヨリ五千マールク迄テノ罰金ヲ拂フ  
ベシ○若シ右ノ如キ犯法ノ事ヲ以テ其本業ト  
做ス丁明證ナルトキハ罰金ノ外一年若クハ  
一年以下ノ禁獄ニ處ス可シ○惟法ヲ犯サント  
ヲ企テタルノ三ニテモ亦其罰ヲ免ル可カラス

第五十八節

何人ヲ論セス第四十二節ニ掲載セル制禁ヲ犯  
シ支店ノ主司若クハ代理者トシテ銀行事業ヲ  
取行フカ或ハ又一ノ銀行ノ名目ヲ以テ他ノ銀

行ノ仲間トナルニ於テハ五千マールク迄ノ罰金  
ヲ科スヘシ○第七節ニ掲載セル規則ヲ遵奉セ  
ザルカ或ハ第四十二節中ニ記載シタル規則ニ  
違背シ甲支店ヲ設立シ若クハ代理ヲ置キ乙其  
銀行ヲシテ他ノ銀行ノ仲間ニ入ラシムルヲ  
ナシタル一銀行ノ主司ハ右同断ノ罰ニ處セラ  
ル可シ

第五十九節

銀行ノ主司ハ第八節ノ規律ニ從ヒテ公布スヘ  
キ報告ノ中ニ銀行ノ實況ヲ詐リテ記載スルコ



トアルトキハ三ヶ月間ノ禁獄ヲ命セラル可シ  
 ○銀行ノ主司ハ第十節ノ旨ニ從ヒテ差出ス可  
 キ報告ノ中ニ統ヲ拂フ可キ紙幣高ノ全數ヲ掲  
 載セサルトキハ其ノ私偷ミタル枕額ノ十倍而  
 シテ少クトモ五百マールクスニ及ヘル罰金ヲ拂  
 ハシメラル可シ○若シ銀行ニテ其ノ銀行ニ與  
 ヘラレタル紙幣發行ノ権限ヲ踰ヘテ多分ノ紙  
 幣ヲ發行スルトキハ右銀行ノ主司ハ右過分紙  
 幣ノ十倍或ハ少クトモ五千マールクスニ及ヘ  
 ル罰金ヲ拂ハシメラルベシ○又々無利息ノ負

債證券ヲ發行ス可キ權利ヲ有スル所ノ會社ノ  
 主司モ若シ其紙幣發行ノ權利ヲ踰ヘテ過分ノ  
 紙幣ヲ發行スルトキハ前同斷ノ罰金ヲ拂ハシ  
 メラル可シ

第五篇

結尾

第六十節

此條例ノ第六節第四十二節第四十三節ニ掲ケ  
 タル諸規則并ニ右三節ニ關係シ而シテ第五十  
 六節第五十八節ニ掲ケタル罰則ハ一千八百七  
 十六年一月一日ヨリ實際ニ施行スベシ



第六十一節

帝國ノ千ヤシセロルハ普魯士政府ヨリ普魯士銀行ヲ帝國ニ讓渡ス所ノ條約ヲ普魯士政府ト取結フノ權ヲ有セリ○此條約ハ次ニ擧クル條款ニ基カザルヘカラズ第一普魯士ハ普魯士銀行ニ入レタル資本金百九十万零六千八百タールト準備金ノ半高トヲ取回シタル後キ右銀行ヲ帝國ニ讓渡ス事○普魯士政府ハ右銀行ト共ニ同銀行ノ權利及ヒ負債ヲ一千八百七十六年一月ヨリ次ニ掲ケタル第二ヨリ第六迄ノ取

極ノヲ以テ讓渡スヘシ○帝國ハ右普魯士銀行ヲ此條例ノ條款ニ從テ設立スベキ帝國銀行ト做スベシ(第二)普魯士ハ其ノ銀行ノ讓渡シノ償ヒトシテ帝國ノ銀行ヨリ調達スヘキ千五百マ一クノ金ヲ受取ルベシ(第三)普魯士銀行ノ株主ハ若シ帝國銀行ノ為メニ其權利ヲ棄絶セシメテ業諾スルニ於テハ其所持シタル普魯士銀行ノ株式ヲ帝國銀行ノ同價ノ株式ト交換スルノ權ヲ有スベシ(第四)帝國ノ銀行ハ普魯士銀行ハ拂入レラレタル資本金元ニ準備金ノ内ヨリ拂



回スヘキ金高ヲ株主ノ要求ニ應ミテ其株主ヘ  
 返辨セサルベカラズ但此權利ハ一千八百四十  
 六年六月十五日ニ制定シタル銀行規則普魯士  
 律例第四百三十五ペーシノ第十六節及ヒ第十  
 九節ニ於テ株主ノ為メニ取設ケタルモノナリ  
 第五千六百五十八万九千ターラノ普魯士政  
 府ノ借債ニ付キ千八百五十六年一月二十八日  
 三十一日ノ條約ニテ普魯士銀行ノ引受ケタル  
 責任ハ帝國銀行ニテ之ヲ引受ケサルベカラズ  
 ○此目的ノ為メニ帝國銀行ハ一千八百七十六

年ヨリ千八百二十五年迄テ毎年六十二万一千  
 九百三十ターラヲ二季拂ニテ普魯士ニ任拂  
 フベシ○帝國銀行ハ其營業免許ヲ改メテ授與  
 セサル片ハ日耳曼政府ハ他ノ銀行ノ帝國銀行  
 ノ權利及ヒ責任ヲ得ルニ及フ迄テ右二季ノ任  
 拂ヲ普魯士租稅院ヘ做スヲ注意スヘシ第六  
 普魯士銀行ノ不動産ニ付キテノ普魯士帝國銀  
 行ト約定ハ追テ取極ムヘシ  
 第六十二節  
 帝國ノ千ヤシコロルハ次ニ掲クル權ヲ有スヘ



之(第一)第六十一節ノ第三ニ揭示シタル普魯士  
銀行ノ株式ト交換シル所ノ株式ヲ發行ス  
ル事(第三)第二十三節ニ照準シ帝國銀行ノタメ  
ニ要用ナル資本ヲ募ラントタメ利息附キノ租稅  
院證券ヲ發行スル事但シ右證券ノ高ハ發行サ  
レサル株式ノ高ヲ起ヘサルベシ○右証券ハ遲  
ク凡千八百七十六年五月一日ニ仕拂ハ滿期夕  
ルベシ

第六十三節

右租稅院証券ホシステヨハレラル(六十二)節ノ第

ニニ掲ケタルモノノ製造ハ國債ノ管理方ニ之  
ヲ委任スヘシ○右証券ノ利息ノ割合ハ帝國ノ  
千ヤシセロル之ヲ定ム可シ○千八百七十六年  
五月一日ニ至ル迄テハ千ヤシセロルノ布令ヲ  
以テ右証券ノ高ヲ再ヒ充タスコトヲ得ベシト  
ス然レ凡既ニ通行ヲ經タルモノニ代フルニ過  
キサル可シ

第六十四節

右租稅院証券ノ利息及ヒ収贖ノ為メニ要用ナ  
ル金高ハ此証券ノ滿期ニ至リテ國債ノ管理方



之ヲ帝國ノ歳ハヨリ出サ、ル可ラス  
第六十五節

右証券ハ租稅院ヨリ發行ス可シ。此証券ノ利  
足ハ其証券ノ仕拂滿期ノ日ヨリ全四個年ノ後  
ハ之ヲ討求スルモ政府ヨリ渡タスヲアル可ラ  
ス其本金ハ仕拂滿期ノ日ヨリ全三十年ノ後ハ  
之ヲ討求ストモ政府ニテ拂ハサルハ之  
第六十六節

商法簿冊ノ書込方ニ付キ商法律中ニ揭示シタ  
ル規則及ヒ此規則ヲ怠タリタルニ付キ起ル

可キ法律上ノ關係ハ帝國ノ銀行ニハ及ハサルベシ

銀行表

無低當通用紙幣  
マークヲ以テ算ス

- 一 帝國銀行 二五〇〇〇〇〇〇
- 二 波美格尼士得丁ニ在地主銀行 一二二〇〇〇
- 三 北勒斯勞市中銀行 一二八三〇〇〇
- 四 ハトリカッセンウエイシノ銀行 九六三〇〇〇
- 五 哥羅尼銀行 一二五〇〇〇
- 六 馬丁堡私立銀行 一二七三〇〇〇
- 七 伯澤私立分銀行 一二七二〇〇〇
- 八 波不次大候爵領地方銀行 一二〇六〇〇〇

飛 澤 武 大 藏 省



九 普魯士オールドバンク (Prussian Old Bank) 三付キテ商法銀行 一、三〇七、〇〇〇

十 漢堡威爾銀行 六〇〇、〇〇〇

十一 漢堡伯爵領地方銀行 (漢堡バンク) 一五九、〇〇〇

十二 佛朗佛銀行 一〇、〇〇〇、〇〇〇

十三 巴威里銀行 三二、〇〇〇、〇〇〇

十四 德佛<sup>ニ</sup>於テノ<sup>ニ</sup>薩撒銀行 一六七七一、〇〇〇

十五 凍漬銀行 五三、四八〇、〇〇〇

十六 凍漬カッセンウエイ<sup>ン</sup> 一四四、〇〇〇

十七 ケムニッワ市中銀行 四四一、〇〇〇

十八 漢堡紙幣銀行 一〇、〇〇〇、〇〇〇

十九 巴丁銀行 一〇、〇〇〇、〇〇〇

二十 南日耳曼、為<sup>ク</sup>銀行 一〇、〇〇〇、〇〇〇

廿一 ロストック銀行 一一、五五〇、〇〇〇

廿二 威馬<sup>ル</sup>銀行 一九七、〇〇〇

廿三 オルテンボルクステートバンク 一八八、〇〇〇

廿四 不倫瑞克銀行 二八、二九〇、〇〇〇

廿五 マイニゲ<sup>レ</sup>ニ於テ<sup>ニ</sup>中央者耳曼<sup>ク</sup>レジ<sup>タル</sup>バンク 三一、八七〇、〇〇〇

廿六 額達ニ於テノ<sup>ニ</sup>私立銀行 一、三四四、〇〇〇

廿七 アンハルトデッ<sup>ル</sup>バンク 九、三五〇、〇〇〇

廿八 ヴリヤン銀行 (サントルスホーセ<sup>シ</sup>) 一、六五八、〇〇〇



共ケリ銀行

一六五一〇〇〇

三下薩境徽銀行 (ニノケベルク)

五九四〇〇〇

三下薩境略私立銀行

五〇〇、〇〇〇

三下薩境略ニ於テヨシタルバンク

九五九〇〇〇

三三フレタル銀行

四五〇、〇〇〇

マク金高物計

三八五、〇〇〇、〇〇〇



